

アグリカレッジ福島では、農業者や就農を志す方等に、必要な知識や技術を習得していただくため、主に次のような研修を実施しています。また、研修者用宿泊施設が令和七年四月から利用出来るようになり、遠方からも参加しやすくなりました。

各研修とも受講対象者の要件等が異なりますので、詳細については本校研修部にお問合せいただくか、本校ホームページでご確認ください。

【就農研修】 県内で就農したい方や就農後間もない新規就農者等を対象に、農業に関する基礎的な知識等を習得するための「就農基礎コース」や、より専門的な知見や農業経営に必要な幅広い知識を習得するための「就農専門コース」、円滑な就農を目指して年間を通して栽培技術や経営管理等を実践する「長期就農研修」を実施します。

キルアップコース」を実施します。

【農業機械研修】 認定農業者等を対象に、大型特殊免許（農耕車限定）及びけん引免許（農耕車限定）の取得を目指す「大型特殊免許・けん引免許取得支援コース」、農業機械の基礎的な点検整備を行う「技術基礎コース」、農業機械に関する技術向上を目指した「技術向上コース」を実施します。

また、農業者等の依頼に応じて現地で農作業の安全対策を学ぶ「現地支援研修」、本校の施設及び農業機械等を利用する「施設利用研修」を実施します。

【公開講座】 家庭菜園や草花栽培に必要な基礎的技術等について、わかりやすく解説する講座を実施します。

※研修内容等は変更となる場合があります。

【お問合せ先】 電話 〇二四八（四二）四一一四 アグリカレッジ福島研修部 アグリカレッジ福島ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/>（「アグリカレッジ福島」で検索）



就農研修(就農基礎コース)



農産加工研修(基礎コース 瓶詰め加工)



農業機械研修(大型特殊免許取得支援コース)



就農研修(長期就農研修)



農産加工研修(スキルアップコース 焼き菓子米粉加工)



農業機械研修(技術向上コーストラクタ操作技術向上)

事務局からのお知らせ

- ①同窓会では、同級会の開催にかかる費用の助成を行っています。助成には条件等もございますので、開催を検討されている幹事の方は、事務局までお気軽にお尋ねください。
②御結婚された方へ祝電をお送りしております。御結婚の際には、事務局にも御連絡ください。
③同窓生の皆様の近況や一言メッセージ写真等を募集しております。本校に御来訪のりには、同総会事務局へもお立ち寄りください。次回「學友」に掲載させていただきます。
④令和八年度も七月・八月にオープンキャンパスを開催します。本校の教育内容の説明や体験実習・施設見学を行いますので、同窓会会員の皆様からのお知らせをお声掛けいただければ幸いです。
⑤「學友」は本号から紙による発行を減らし、学校ホームページに掲載することとなりました。掲載時期は毎年三月を予定しておりますので、学校ホームページからご覧ください。
最後に、皆様方の御健康とますますの御活躍を御祈念いたします。



本校ホームページ

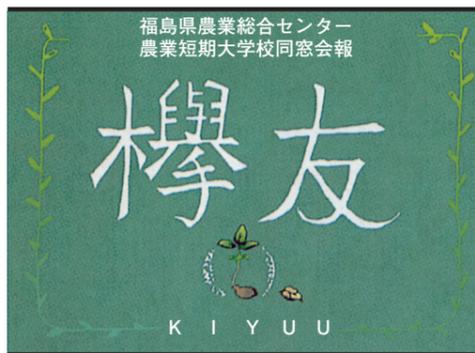


本校 Instagram



27 2026.VOL.27

発行日 令和八年三月一日
発行所 福島県農業総合センター
農業短期大学校同窓会
発行責任者 会長 小沢 充博
事務局 福島県西白河郡矢吹町
一本木446番地1
電話 0248-42-4111
FAX 0248-44-4553
https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/
e-mail:nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp



好評な新学生寮

同窓会長 小沢 充博

日頃より同窓会活動へのご理解ご協力に感謝します。

令和七年度より新しい学生寮とアグリ探求棟という講堂の運用が始まりました。福島県産木材をふんだんに使用し、旧学生寮前のグラウンドを割り当てた建物になります。

離れの宿のような独立した宿泊棟と、作業後に使えるシャワールームなどを完備した屋外作業準備棟は、快適な寮生活が出来るかと学生の評判は上々のようです。近年の賑やかな文化祭を表すような明るい雰囲気の新学生寮に自然と学生が集まっています。

卒業生の皆様には、ソフトボールをしたグラウンドや桜並木の思い出があるかと思いが、農業を志す学生の暮らしや将来が前向きになれる新学生寮をぜひ見学に来て感じ取ってもらえればと思います。



学びと挑戦が広がるキャンパスから

校長 遠藤 昌彦

同窓生の皆さまには、日頃から本校で実施している視察研修等での受け入れや榊隆祭への出展など、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、地域でご活躍される皆さまのお姿を拝見するたびに、本校の教育の確かさを実感するとともに、教職員にとって何よりの支えとなっております。重ねて御礼申し上げます。

この会報誌で、母校の今の姿をお伝えし、懐かしさとともに、未来への希望を感じていただければ幸いです。

令和七年度は、学生が日々生活する学生寮をはじめ、研修や実習で使用するアグリ探求棟と屋外作業準備棟の供用が開始されました。

新しい学生寮は全一〇室の男女別一人部屋で、エアコンやWi-Fiを完備しております。また、屋外作業準備棟には、実習後に利用できるシャワールームやランドリーも設けられています。

いただいた先輩方の思いが実を結んだものであり、地域に根ざした教育の成果として誇らしく感じております。学生にとっても自らの行動が社会に役立つという実感につながり、大きな励みとなっております。今年度も学生が率先して献血に協力する姿が見られました。

令和七年度卒業生の進路状況につきましては、卒業生四十一名のうち半数以上が就農を予定しており、二年連続で就農率が五〇%を超える見込みです。また、他の学生も農業団体や関連企業、公務員など、地域農業を支える人材として旅立つ予定となっております。

現在、食と農を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化に加え、記録的な高温をはじめとする気候変動、燃料や資材・飼料価格の高騰など、不透明な状況が続いております。

そのような中であっても、本校の学生は主体性を持ち、柔軟に学び続けています。その姿に触れるたび、福島の農業の未来は明るいものになると強く感じております。

本校は、学生一人ひとりの夢の実現を支えるため、学習環境の整備に加え、スマート農業技術など最先端の学びを提供できるよう、より充実したカリキュラムの構築に努めてまいります。

さらに、卒業生と在校生の交流の機会を拡充し、学びの輪を広げるとともに、地域に寄り添いながら、より良い学びの場を築いてまいります。皆さまのお力添えを、今後ともよろしくお願い申し上げます。

東日本農業大学校等 同窓会連盟総会に 参加しました

同窓会副会長 橋本 明人

令和七年七月三、四日、本校の新施設「アグリ探求棟」を会場に、東日本農業大学校等協議会・同窓会連盟合同会議、東日本農業大学校等同窓会連盟総会が開催され、これに出席しました。

合同会議には、北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県の大学校長と同窓会長、農林水産省経営局就農・女性課の菊池経営専門官、県農林水産部の古川次長が出席し、各校の現状や課題、今後の対応等について話し合いました。特に、入校生の確保は各校共通の課題であり、出席者の皆さんは、PRの方針等について関心を持たれていました。

合同会議終了後は、協議会と同窓会に分かれ、総会を行いました。

その後は本校の新施設であるアグリ探求棟、屋外作業準備棟、学生寮を見学させていただきました。アグリ探求棟にはちよつとしたコンサートができそうなホールがあったり、屋外作業準備棟には寮生以外の通学生でも利用できるシャワー室があったり、学生寮は一人部屋でエアコンやLEDが完備されているということなどで、各大学校長や同窓会長は感心されています。そのほか、ほ場やスマート農業トレーニングフィールド建設予定地も見学させていただきました。

二日目は、小沢同窓会長の「おざわ農園」でいちごのハウスや、郡山市大槻町の鈴木農場の圃場と直売所を見学させていただきました。来年は北海道での開催になります。



大学の近況

スマート農業トレーニングフィールドと食堂が今春供用開始!

令和七年四月から供用を開始した研修施設と宿泊施設並びに新しい学生寮に加え、令和八年四月から新たに「スマート農業トレーニングフィールド」と、改修を終えた食堂の供用を開始します。

これにより、令和五年より実施していた一連の工事が終了し、新施設がすべて完成となりました。

スマート農業トレーニングフィールドは、施設全体をネットで覆った構造のため、航空法に基づく飛行の許可・承認手続きを要せず、ドローンを用いた操作訓練や液体散布訓練などを実施することができます。

また、施設内は畑地として整備するため、ロボットトラクタによる作業訓練や、作物を実際に栽培しながら行う実証試験なども実施できます。

今後、本施設を活用した研修を実施予定ですので、ご興味がありましたら、ぜひお申込みください。



第三十七回榊隆祭を開催

令和七年十月二十六日、第三十七回榊隆祭を開催いたしました。

学生主体の企画・運営により、本校産農産物の直売や各学科による模擬店、卒業生による直売、ステージイベントなど、様々なイベントを行いました。

また、農業経営者の皆様や飲食店・企業、本校後援会など、計二十三団体に出展していただき、食品販売やキッチンカーの出店、スマート農業を始めとする機械・器具機材の展示など、活気あふれる賑やかな一日となりました。

当日の天候はあいにくの雨でしたが、小さなお子様からシニアの方まで、千名を超えるお客さまにご来場いただき、学生や出展者との交流を通じて、「農業の輪」を広げることができました。

改めまして、ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。



受賞おめでとうございます

農業大学校同窓会全国連盟

会長賞 花き経営学科 神田 爽良

東日本農業大学校等同窓会連盟

会長賞 畜産経営学科 門馬 聖弥

本校同窓会会長賞 果樹経営学科 猪狩 拓希

畜産経営学科 足立 志温

野菜経営学科 佐川 弘文

野菜経営学科 大堀 伶



令和七年四月から供用を開始した施設についても、改めてご紹介します。

【アグリ探求棟】

スマート農業機械等を展示できる格納庫を備えた二百人収容の「クリエイティブホール」や、学生の講義などで使用できる「ゼミ室」二室などを備えており、土日祝日等には施設の貸出も行っています。



【学生寮】

男子寮三棟（七十六名収容）と女子寮二棟（三十四名収容）があり、全室個室でエアコンを完備しています。各棟に共用の風呂やキッチン、洗濯機なども設置しています。

【一般宿泊棟】

十八部屋・十八名収容。全室個室でエアコンを完備しており、バリアフリー室も用意しています。

【屋外作業準備棟】

主に通学生などが使用するロッカールームやシャワー室等を備えています。



(写真提供：ToLoLo studio)